

事例

高齢者のAさんは昼食を摂るため食堂に誘導された直後、トイレに行きたいと訴えました。Aさんは、一人で移動ができず車いす介助で移動しています。職員のXさんは、Aさんのトイレ移乗を介助していましたが、Aさんは足に力が入らず、なかなか立ち上がることができません。Xさんは、しばらく介助を続けていましたが、しっかり立ち上がらないAさんにイライラしてきました。職員のXさんはズボンのウエスト部分を持ち、釣り上げるような形で力ずくで高齢者のAさんを立ち上がらせました。ズボンを引き上げた時にAさんは小さな声で、「痛い」と言いましたが、Xさんはそのまま介助を続けました。

フェーズ1

＜気になる言動を考えてみよう＞
・事例を読んで、気になる言動は何でしょうか？

フェーズ2

＜高齢者の気持ちを考えてみよう＞
・そのような言動をされて高齢者はどう感じたでしょうか？

- 考えてみようポイント：一方的な思いでケアをしていませんか？
：高齢者の尊厳を傷付けていませんか？



虐待の類型を考えてみよう。

フェーズ3

＜職員の気持ち、言動に至った職員の要因や背景を考えてみよう＞
・なぜ、そのようなことが起こったのでしょうか？原因を含めて考えてみましょう。

フェーズ4

＜対応方法を考えてみよう＞
・このような言動をや状況見聞きした時、どうしますか？

フェーズ5

＜できることを考えてみよう＞
・そのようなことが起こらないためにできることを考えてみましょう。
・実現可能性の有無は考えません。
・出た意見はすべて付箋に記載する。

フェーズ6

＜実現する方法を考えてみよう＞
・「個人で」「チームで」「組織で」対応することに分けてみましょう。